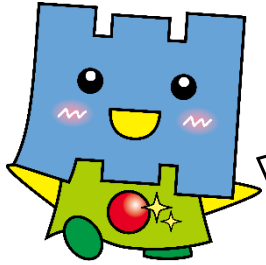


あらたまプラン構想図

人と自然がふれあい、夢ふくらむ元気な町・川辺



あらたマン

「あらたま」とは、「掘り出したままでみがいていない玉」という意味で、川辺町になじみの深い言葉となっています。川辺町では、教育夢プランを「あらたまプラン」とし、「めざす川辺像」「願う人間像」「願う家庭像」を明らかにし、全町民が一体となって、子どもの教育の推進をめざしています。あらたまプランとは、「家庭」「地域」「園・学校」が手を携えて、かわべの「人づくり」「まちづくり」を推進するプランです。

川辺町民憲章

私たちは、豊かな水と緑に恵まれた川辺町の町民です。
私たちは、先人の遺業に感謝し誇りをもって明るく住みよい町づくりをめざし この憲章を定めます。

- 一、体力づくりに努め、明るい家庭をつくります。
- 一、常に学ぶことを忘れず、豊かな教養を身につけます。
- 一、創意と工夫をし、夢と希望をもって生活します。
- 一、自然を愛し、安全で住みよい町をつくります。
- 一、心のふれあいを大切にし、潤いのある郷土をつくります。

めざす川辺像

(第5次総合計画より)

将来像

「清流と人が織りなす活力あるまち」

美しく安らぎのあるまち

誰もが安心して暮らせるまち

みんなで学び合うまち

快適に暮らすことができるまち

新たな活力をおこすまち

共に考え行動するまち

願う人間像

進んで運動に親しみ、健康づくりに関心をもつ人

創意・工夫をし、夢と希望をもつ人

心のふれあいを大切にし、支え合う人

自分に自信をもち、自ら発信できる人

学びや体験を続け、豊かな教養を身に付ける人

郷土の自然、文化に誇りをもち、川辺を愛する人

願う家庭像

健康と食に関心をもつ家庭

夢を語り合える家庭

明るく支え合える家庭

人としての生き方の基礎を培う家庭

地域社会の一員としての家庭

川辺スピリット 「自ら学ぶ とともに学ぶ いつまでも学ぶ」

めざす子どもの姿

心身ともに健康で郷土を愛する人間性豊かな子ども

～わたしが好き 家族が好き 仲間が好き そして この町が好き～

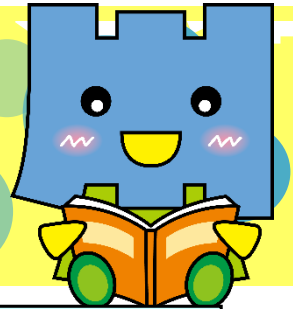
みつめ・かかわり・みがきあう

あらたまプラン推進協議会（家庭・学校・地域社会の代表者）

あらたまプランの計画・実践・評価を行う。

令和7年度

川辺町あらたまプラン



<めざす子どもの姿>

心身ともに健康で郷土を愛する人間性豊かな子ども
～わたしが好き 家族が好き 仲間が好き そして この町が好き～

<今年度の重点>

ふれあいがひろがる町「かわべ」をめざして
～あいさつ運動・読書推進・KMS9運動～

こども園

子どもに寄り添い
「基本的生活習慣」
を育てます

- あいさつ指導の徹底
- 読み聞かせ活動の推進
- 絵本コーナーの改善
- 親子読書の推進
- KMS9運動の理解
- 川辺かるたで「遊ぶ」

小学校

「確かな学力・豊かな心・健やかな体」
を育てます

- あいさつ指導の工夫
- 図書館教育の推進
- 読書活動を通じた地域人材の活用
- KMS9運動の推進
- 川辺かるたで「知る」

中学校

- 習慣化を目指したあいさつ指導
- 読書活動の工夫
- 読書活動を通じた地域への発信
- 生徒が主体となったKMS9運動の推進
- 川辺かるたから「学ぶ」

連携

連携

家族であいさつ

保護者会・PTA活動

家族で読書

家族で
KMS9運動

家庭では 親自らが手本を示すことで、子どもの生活の基礎を育てます

みつめ・かかわり・みがきあう の視点での援助

あいさつ運動への協力

- ・ あいさつの日の参加協力
- ・ 日常からのあいさつ指導
- ・ 大人も子どもも「先がけあいさつ」

読書推進のための協力

- ・ ボランティアによる読み聞かせ
- ・ 家族読書の啓発
- ・ ブックスタート事業

KMS9運動への協力

- ・ 情報教育への理解と指導
- ・ 情報におけるトラブルの未然防止
- ・ 地域での見守り・見届け

地域では 子どもの成長を気長に見守り、心の通う活動を推進します

地域と家庭と一体となった特色ある学校づくり(コミュニティスクール)

令和7年度

川辺町あらたま『DO』



＜めざす子どもの姿＞

心身ともに健康で郷土を愛する人間性豊かな子ども
～わたしが好き 家族が好き 仲間が好き そして この町が好き～

＜今年度の重点＞

ふれあいがひろがる「かわべ」をめざして
～あいさつ運動・読書推進・KMS9運動～

こども園

- 親子で先生に「あいさつ」
登園した時に、親も子も一緒になって「おはようございます」と先生にあいさつができればすてきですよ。
- 名前をつけて「あいさつ」
「〇〇ちゃん、おはよう」と言われた子はうれしい気持ちになりますね。
- 絵本コーナーの改善
子ども達が大好きな絵本。より使いやすく、見やすく工夫されていると、もっと本が好になれますね。
- 読み聞かせの推進
園でも家でも子ども達は読み聞かせしてくれるのを待っていますよ。
- 「スマホ」のことを考えてみよう
「お金のかかるアプリ」や「ワンクリック詐欺」などは知っておくといいですね。
- 「川辺かるた」で遊ぼう
遊べば遊んだだけ、川辺を好きになっていきますね。

小学校

- 先生や友達に「先がけあいさつ」
「自分から」「進んで」あいさつすると、気分もよくなりますよ。
- 名前をつけて「あいさつ」
「〇〇さん、おはよう」と言われた子はうれしい気持ちになりますね。
- 図書館の改善
図書館は、わくわくする場所。より使いやすく、見やすく工夫されていると、もっと本が好きになれますね。
- 読み聞かせの推進
いろんな人に読み聞かせをしてもらうと新たな興味がわいてきます。
- 「スマホ」の恐ろしさを知ろう
「デジタルタトゥー」「著作権・肖像権」など、身近でおきるスマホのトラブルを知っておきましょう。
- 「川辺かるた」で知ろう
「こんな所があるんだ」「行ったことある」をどんどん増やしましょう。

中学校

- だれもが当たり前の「あいさつ」
自然にあいさつをしあう＝習慣化
安心して過ごせる環境では、自然とあいさつがあふれますね。
- 名前をつけて「あいさつ」
「〇〇さん、おはよう」と言われると「認められている」という気持ちになりますね。
- 図書館の改善
図書館が落ち着いて活用しやすい場所であることは、心の安定にもつながりますね。
- 読書推進
本から学んだことを自分自身の生き方に活かせるような出会いを広げましょう。
- 「スマホ」と上手につきあおう
危険もあるけど、上手に使えばとても有効なアイテム。様々な事例から学びましょう。
- 「川辺かるた」で学ぼう
先人の偉業や由緒ある行事など、現在につながる川辺のルーツにも迫るきっかけになりますね。

保護者・PTA活動

あいさつ

- 家族であいさつ
1日の生活は、家庭で始まり、家庭で終わります。
まずは、どの家庭でも「おはよう」「おやすみ」「行ってらっしゃい」「お帰り」という当たり前のやりとりを大切にしましょう。
家族であいさつができる子は、学校・地域でもきっとあいさつができる子になっていきます。

読書

- 家族で読書
「親子で読書」に挑戦してみましょう。
他にも、学校・園のおたよりや新聞の記事などを家族で話題にしたり、子どもの借りてきた本について話したりなど、活字を基に会話をしましょう。
また、「ノーメディアデー」などの学校の取組の時には、よい機会なので、大人もスマホではなく本を読んでみましょう。

KMS9

- 家族でKMS9運動
ネットのトラブルやスマホの使い方について、気をつけなければならないのは、大人も一緒。情報モラルについてのお手本を示すのは、大人の役目。子ども達は、大人のスマホの使い方をしっかり見えています。ぜひ親子一緒に考えていけるように、家族全員が意識をもっていれば、子どもの使い方も改善していきます。

みつめ・かかわり・みがきあう の視点での援助

地域みなさん

あいさつ

- 地域でのあいさつ
普段、人とすれちがう時に、知り合いであれば当然あいさつをします。「子は地域の宝」です。知り合いにするように、子ども達にもあいさつをしてください。気長にあいさつを続けてもらえば、子どもたちは必ず元気なあいさつを返してくれます。

読書

- 地域での読み聞かせ
地域で活動してくださっている読み聞かせボランティアのみなさん。こども園や小・中学校の子ども達はとても楽しみにしています。
今後も、様々な場で、子ども達と本を通したつながりを深め、見守ってください。

KMS9

- 地域でのKMS9運動
スマホ・ケータイを多くの子ども達が使っています。その使う場所やマナーについて、地域の方の見守りが必要です。公共の施設や人が多く行き来するところなど、場に応じた使い方ができるように目配りをお願いします。

地域(人材活用)・家庭(家庭教育)・学校(コミュニティスクール)が一体となった「地域づくり」